

# 練馬・文化の会 会だより

共同代表：相川充弘 岡部昭 小沼穂子 古賀義弘 田場洋和

事務局：森田彦一 TEL: 03-3951-4276 FAX: 03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

**若者を戦場にやるな！「戦争」語り部連続企画がスタート**

**第1回は「武蔵野にも戦争があった」：上映とトーク**

**2月8日（日）後2時～ ココネリ3階研修室1 参加費500円**

安倍政権の「海外で戦争ができる国づくり」は、我々の想像を超えるスピードで進められています。沖縄・辺野古の工事進展、武器輸出3原則の撤廃と武器輸出の解禁、2015年度予算における防衛予算の拡大など・・・。そうした中で、改めて「戦争の怖さ」を体験者から受け継ぎ、次世代に引き継いでいこう

——という趣旨から『若者を戦争にやるな！「戦争」語り部連続セミナー』を1年かけて取り組むことになりました。先日の幹事会にお招きした永田教授からは「テレビみつがしわ」の制作も絡めて

「語り部」企画のアイデアも披露されました。

第1回は「テレビみつがしわ」で制作した「武蔵野にも戦争があった」の上映と同番組に出演した秋山さんと、文化の会の会員で「西東京に落とされた模擬原爆の記録を残す会」事務局長の西田昭司をお招きしての企画を持つことにしました。我々のような年配者自身が東京空襲の事実を知ることがまず大事なのですが、多くの若者たちに知ってもらうことはもっと大事です。是非お知り合いの若者に呼びかけてこの「語り部」企画にご参加ください。  
(田場記)

**「テレビみつがしわ」の武蔵大学との共同制作が復活  
永田浩三教授の協力をいただき年1本程度の制作へ**

1月15日（木）に行われた幹事会には、しづく雨の中、永田武蔵大教授にご出席いただき、「テレビみつがしわ」復活に向けての話し合いがありました。

その詳細な内容は次回幹事会で報告しますが、

「テレビみつがしわ」の共同制作を復活させることで話がまとまり、「戦争」語り部企画と絡めていくつかの具体的な提案がありました。若い学生さんたちとの交流も考えられ、文化の会活動に大きな刺激になることが期待されます。  
(田場記)

**新年会（1月11日）に総計53人が参加 好評を得た琉球舞踊  
「戦争」体験や関連イベントのPRなどほぼ全参加者がスピーチ**



{有原撮影}

1月11日（日）午後、練馬区職員研修所で文化の会の新年会が行われました。

来賓8名、琉球舞踊関係者6名を含め53名の参加があり、久しぶりに賑々しい新年会になりました。

何といっても会を盛り上げたのは植竹しげ子さんが主宰する民族舞踊研究所による琉球舞踊でした。踊りの植竹さんと仲村育子さん、歌・三線の浜岡正巳さん、太鼓の波照間史人さん、それに解説・司会を喜納幸男さんが担当。踊りは「御前風」「かせかけ」「山崎のあぶしゃま（八重山）」の3曲、それに三線の浜岡さんのリードで「安里屋ユンタ」「涙そうそう」の唱和があり、厳粛さ・軽妙な踊りの後で一挙に場が和む温かさが流れました。余計な感想かもしれません、「オール沖縄」の神體に触れた気がしました。

有原誠治さんの乾杯のあと、席順に参加者ほぼ全員が自己紹介と「ひとことアピール」。やはり安倍政権の「戦争できる国づくり」への危険性に警鐘をならす内容と、沖縄との関わりを語る発言が多かったのが特徴でした。圧巻だったのは望月達雄（翠山）さんが実物を掲げながら紹介した、自分が兵隊として見送られた時の日章旗への寄せ書きの文言。「尽忠報国」「体当たり」「祈武運長久」「断固進撃」「忠勇義烈」・・・など、勇ましい言葉の羅列でした。まさに安倍政権が目指

す国造り  
そのものが書かれ  
ているよ  
うに感じ  
ました。  
(田場記)



{有原撮影}

## 新年会の感想① 琉球舞踊へのお誘いとPR（お正月のあいさつに代えて） 植竹しげ子（民族舞踊研究所）



{藤井撮影}

練馬・文化の会の皆さま、あけましておめでとうございます。去る1月11日の新年会のイベントで踊らさせていただいた植竹しげ子です。幸

せな気持ちで踊ることができたこと、大変うれしく思っています。ありがとうございました。

以前、私が企画した公演のたびごとに、田場さ

まのご協力でチラシをお届けしていました。チラシの写真ではお目にかかるかかもしれません。私はひとりでも多くの方に踊りを見ていただくよう念じております。

つきましては、会員の皆さまが地域や職場等で

催し物を企画した際に「ちょっと踊りがあるとい

いな」という場合、私一人でできる範囲でボランティアでかけつけたいと考えています。気兼ねなくお声をかけていただけたら幸いです。

どうぞよろしくお願ひいたします。

連絡先：〒204-0011 清瀬市下清人4-419-12

TEL・Fax 042-491-0283

## 新年会の感想② 「〈語やびら沖縄〉もあい練馬」入会のご案内 柏木美恵子

1月11日の練馬文化の会の新年会に初めて参加させて頂き、沖縄舞踊を始め、会の皆さまのスピーチは大変興味深く、楽しく有意義な時間を過ごさせて頂きました。

沖縄北部東側にある米軍北部訓練場に、高江という集落を取り囲むように作られようとしているヘリパッドに対して反対の声をあげている住民・支援の人々を描いたドキュメント映画「標的の村」(三上智恵監督)の練馬での上映会を、昨年6月に文化の会の皆さまと一緒に持ちました。練馬文化センター小ホールに500名を超える方が足を運んで下さり、様々な感想やメッセージが寄せられました。映像の力に引き込まれ、高江で、そしてオスプレイの強行配備をなんとか止めるために多くの人が集まった普天間基地ゲートで、映し出された一人ひとりが自分のすぐ近くにいる身近な存在に感じ

られ、沖縄で起きていることは遠いことではなく、自分のすぐ近くで起きていることなのだと改めて知らされたように思います。

名護市長選で、沖縄県知事選で、総選挙で、沖縄の人々がはっきり「新しい基地はいらない」と意思を表しても、安倍政権のもとで辺野古の新基地建設・高江のヘリパッド建設は強行に進められようとしています。これだけNOを突き付けても国が一顧だにしない姿に、私たちの国に「民主主義」はないのかと怒りがこみあげます。沖縄の米軍基地問題は、「本土」に住む私たちに、自分たちの国や社会の在りようを鋭く突きつけています。

辺野古の海底ボーリング調査をあくまで強行しようとする沖縄防衛局・海上保安庁に対し、県民・支援の人たちが海で、キャンプ・シュワブゲート前で、今も厳しい闘いを続けています。新年会で

も呼びかけさせて頂きましたが、東京では1月25日(日)午後2時から「辺野古に基地は作らせない」国会包囲ヒューマンチェーンが取り組まれます。国会を幾重にも包囲し、沖縄の人々にエールを送ると同時に、私たちが安倍政権にSTOPをかけていく力としたいです。

「<語やびら沖縄> もい練馬」は「沖縄を語りうよ、練馬の会(集まり)」というような意味で、沖縄の歴史や文化を学ぶと同時に「本土」と沖縄

のあまりに不平等な関係を変えていく取り組みをしていきたいと考えています。2012年の夏に発足した会で、45年の歴史がある練馬文化の会に比べると赤ん坊のような会ですが、これからも沖縄のできごとに目をこらし、声に耳をすまし、私たちの社会の在りようを見つめて、地域から声をあげていきたいと考えています。

どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。

### 新年会の感想③

## 沖縄舞踊によって盛り上がった一体感

藤井達郎(練馬コイノニア集会代表)

学生時代も含め、様々な団体・組織の新年会に出てきましたが、今回初めて参加させていただいた練馬・文化の会の新年会はとても新鮮でした。

開会冒頭に披露された沖縄舞踊によって、参加者の「気」がひとつところに集中し、一体感のような空気が出来上がったかのように、場の雰囲気が良くなっていたようです。

参加者全員に与えられたスピーチも、ひとつひとつがまるで『珠玉の言霊』であるかのように、血の通ったものだった気が致しますし、沖縄に関するスピーチが多くたのも冒頭の沖縄舞踊による‘感化’のゆえなのでしょう。

事実、私自身もスピーチの順番が回ってくる直前までは他の話をしようと考えていましたが、指名を受けるやいなや沸き起きたのが、平良

修牧師による、沖縄が米軍統治下にあった1966年1月2日、アンガー新任高等弁務官の就任式におけるセンセーショナルな‘伝説的祈祷’。『神よ、この新しい高等弁務官が最後の高等弁務官になりますように』……2015年、今や暗黒の如き日本にもたらされた一条の光=『救世主』こそ沖縄であることを信じ、その沖縄に学びつつ、平和への道を探って行くべきことを私自身が決意した、実りある新年会がありました。

参加者のお一人がスピーチされたように、来年は是非とも素敵なコリアン舞踊とコリアン料理で華を添えていただきたくリクエスト申し上げます。

ご準備して頂いた方々、誠にありがとうございました。

### 新年会の感想④

## 文化の会のホームページの検索を!(司会の感想に代えて)

寺崎進(株式会社FIC 営業部副部長)

新年会の司会を仰せつかりました「練馬・文化の会ホームページ」の担当の寺崎と申します。本題の新年会感想の前に、ホームページと私の所属しているF I Cをご紹介したいと思います。一昨年の9月より正式に練馬文化のホームページがスタートして、早1年以上が経過しました。当初は、インターネットの検索でも探しづらい状況でしたが、日夜努力の結果、現在では検索の最初のページにヒットする様になりました。

※インターネット検索(ヤフーやグーグル等)で、「練馬文化の会」又は「ねりまぶんかのかい」と入力して検索ボタンを押しますと、検索の最初に表示されます。なお、URLは

[www.nerimabunka.com](http://www.nerimabunka.com) です。

ホームページはトップページの写真(四季の石神井公園、みつがしわ)・会だより(月間)・各種イベント情報を毎月更新していますので、最新の会だよりやイベント等の情報はホームページの「新着情報」をクリックすると、紙が無くてもどこでも見ることができます。また、ご意見ご感想や入会の受付もできます。昨年もホームページから入会受付や問合せの実績があります。ホームページは更新することによって、常に進化していくものです。そして、皆様に見て頂いて、意見を頂いて初めて効果があるものですので、まずはご覧になって下さい。そして、ご意見・ご感想や周りへ

のアピールをして頂ければと思います。皆様より頂いたご意見・ご感想を反映して、今後更に皆様に活用して頂けるようにしていきたいと思います。どうぞ宜しくお願ひします。

次に、私が所属している会社は、中田社長の経営理念「社会で虐げられている人を救い、雇用の機会を増やし、そして社会に貢献し、平和で明るい社会をつくる」を合言葉に社員一丸となって社業を行っています。昨年も南三陸町をはじめとして数々のボランティ活動を行ってきました。文化の会ホームページの制作もその一環で、社長のご厚意で持出しにて活動を行っています。我々の会社は通常の会社と異なり、利益重視ではなく、社員重視そして社会貢献重視の会社なのです。

さて、新年会の司会を務めました感想ですが、琉球舞踊のゆっくりと優雅な動きに、沖縄の大らかさを感じる事ができました。また、アピールタイムでは、皆様がこの場で伝えたい、訴えたいという熱意が使わってくるお話が多かったと思います。その中で特に戦争と沖縄の問題が印象深かったです。私自身は戦争が終わって生まれた世代ですが、恩師に恵まれ、実際の戦争での悲惨な体験

や出来事を正確に伝え聞くことができました。しかし、今の子供達を教える先生達の多くは年齢も若く、昭和以降の歴史について、正しく教えてもらっていない方が少なくないと思います。私の高3の娘にも聞いてみましたが、大学受験で選択した日本史の昭和以降の近代史は、ほとんど受験に関係ないことから、詳しく教わっていないと言っていました。このままでは日本が自ら戦争を引き起こし、国民を虐げ、そして諸外国を侵略した事実が更に風化してしまいます。今の起きている問題（沖縄基地移設・従軍慰安婦・海外派兵等）の根幹を理解する為にも、勉強会を通じて正しい歴史を学び、これからの方々に伝え、正しい判断ができる大人を増やしていく活動を継続していく必要があると痛感しました。まさに「平和なくして文化なし」です。我々文化の会で行っている活動や平和への思いを、全世界に向けて発信していく手段としてホームページは、とても重要な役割を担っていると思います。これからも、皆様のご協力を得まして、練馬・文化の会ホームページの発展を図ってまいります。本年も宜しくお願ひします。

## ギャラリー古藤で1月末から3月にかけ連続イベント 1月～2月に「表現の不自由展」と3月に「福島を忘れない；江古田映画祭」

江古田のギャラリー古藤で、1月18日～2月1日まで「表現の不自由展」が、続いて2月28日～3月

15日まで「第4回江古田映画祭」が行われます。

ともに、永田浩三・武蔵大教授の主宰によるもので、文化の会として協賛・協力しています。不

自由展には7人の彫刻家、画家などの作品の展示と連日の著名作家などのトークが組まれています。第4回を迎える映画祭は今回も「福島を忘れない」をテーマに原発関連の映画20本以上と連日の監督のトークが計画されています。

## 緊急幹事会のお知らせ：会員の出席自由ーお気軽にご参加ください 会費値下げ問題と45周年企画を中心テーマです 1月31日（土）午後3時～5時 豊玉リサイクルセンター第1会議室

安倍超右翼政権に対抗するには、文化の会としても本格的な体质改善、若返りが必要と、緊急幹事会を開くことにしました。テーマは規約改正問題と45周年企画事業の検討です。幹事会ですが、

時間が取れる方の参加を呼びかけます。

豊玉リサイクルセンターは桜台南口から徒歩3分、会議室は「家族会」で確保しています。第1会議室は玄関からまっすぐ入って突き当り右です。

### 会費納入のお願い

会費未納の方には、郵便振込用紙同封いたしました。2014年度会費の納入期限は3月末です。3月末までにお振込みください。年会費（79歳迄）3,000円、（80歳以上は2,000円）問い合わせは、会計担当の轟田（自宅TEL 3948-5129）迄。